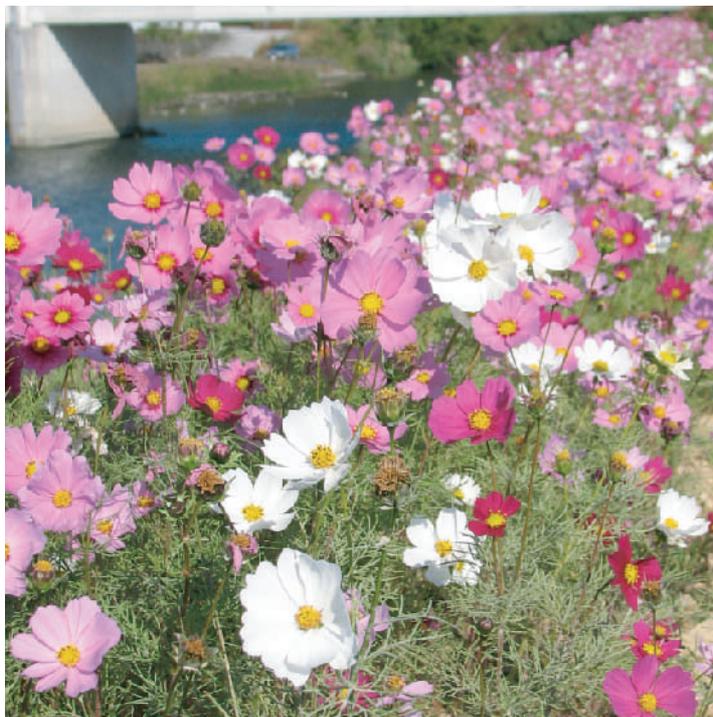


町内でコスモスが満開

「中山間地域等直接支払制度事業」や「農地・水・環境保全向上対策事業」の一環として、また地域でのまちづくり活動として、休耕地や農地周辺などへの植栽活動が行われ、地域の景観が保たれています。

10月中旬から11月下旬には、町内のあちらこちらでコスモスが満開となり、遍路途中の巡拝者や車で移動中の方がふと足を止め、色とりどりのコ



伊与喜川堤防(佐賀地区馬地橋付近)を長々と続くコスモスロード。開花中は散歩コースに利用する方も。

スモスを写真におさめる姿がたびたび見られました。

また、馬荷・御坊畑地区では「地域の秋を楽しむ会」(かきせ川地域づくり協議会主催)が、大方橋川地区では「こすもすの花見in橋川」(橋川中産間生産組合主催)などイベントも行われました。

地域で農地を荒らさないようにと行われている活動が、地元住民や来訪者の交流の場づくりにもつながっています。



コスモスウォークや馬荷冷泉を利用した足湯が好評の「地域の秋を楽しむ会」。



スイセンの球根を植えました。1月~2月の春先が見ごろです。(田村地区)



ハートをかたどったコスモス畑が一段と目を引いていました。(市野々川地区)

大方高校「おのがたソピア塾」
Tele Cube(テレキューブ)企業ハコバンション

10月17日、大方高校で生徒60人(1学年)を対象とした「おのがたソピア塾」が開講されました。

「おのがたソピア塾」は、生徒たちに県内外で活躍する人物の生き方や考え方に直接触れることで、意欲やチャレンジ精神を高め、自分の将来や生き方を考えてもらおうと行っている、大方高校の特長ある教育活動のひとつです。

今回のソピア塾では、校内に設置している起業家・事業者支援対策施設(テレキューブ)を利用する5社(ユニコム・麦屋・NAKKS・高知黒潮若者自立塾・ソフテック)から、営業活動の紹介やその

取り組みへの体験的な就業(インターンシップ)の呼びかけなどがされました。また、テレビ会議システム(お互い遠隔地に居ながらテレビ画面上での対談などを可能とする、インターネットを活用したシステム)を使って参加した慶応義塾大学の生徒からは「こうして企業の社長と関われる場が与えられていることを羨

ましく思います。企業の社長直々に活動参加を呼びかけていただけの機会は滅多にないこと、積極的に活動に加わって欲しい。」と大方高校の生徒に激励の言葉が送られました。

大方高校松原和廣校長からは「テレキューブを利用しては、大変貴重で意義のあるもの。今後も企業と連携を図りながら全学年の生徒に対してこのようなチャンスを与え、継続的に企業活動に参加する生徒には単位認定を行うことも考えています。」と話してくれました。



秋を満喫!

11月中、黒潮町総合文化祭として、11月3日から5日までは総合センターで佐賀文化展が、同月9日、10日にはふるさと総合センターで第45回大方の秋まつりが行われました。

期間中、両センター内では小・中・高校生や一般の方などから出展された絵画や写真、書道、生け花、手芸、工芸品が多数展示され、ひとつひとつの作品をじっくりと見る来場者の姿が見られました。



多数の力作が並び美術展会場にはかわいい手作りトトロもお出迎え。



大方の秋まつり会場では、出店や各種舞台芸能で来場者を沸かせました。同日開催の健康ウォークには町内外から約80人の参加がありました。



また、ラッキョウの花が満開の時期を迎えた入野松原では、景色いっぱい広がるラッキョウ畑を前にキルトの作品を並べて展示する「潮風のキルト展」が行われました。保育所のみなどで作り上げたという作品を嬉しそうに見ている親子連れや「いいね。この紫のじゅうたん」と景観を楽しみながら散歩する方、広場に設置されたお茶席でまったり気分を味わう方、たくさんの方々がそれぞれに楽しんでいました。



ひよここり防災運動会?

10月21日、鞭地区の青壮年部などが中心となって組織した「鞭地区ひよここり防災運動会実行委員会」主催による、町内では初めての防災運動会が実施されました。



運動会で災害時要援護者の避難訓練中

鞭地区は数年前から地区の運動会を実施していないことや、来るべき南海地震と津波による甚大な被害が想定されているという地域性を踏まえ「どうせ運動会をするなら、防災で行こう」ということになり、今回の開催にいたりました。

南海地震クイズ、消防署員による応急救護講習、鞭分団のポンプ操法の披露、起震車体験コーナーのほか、災害時にデマが流れることを想定し

た伝言ゲーム、車椅子や担架を使った借り物競争など、防災に関する種目を実行委員会が企画、さらに昼食は鞭地区婦人防火クラブが炊き出しをふるまうなど、防災色の強い運動会を約200人が楽しみました。

参加者からは「こういった取り組みが続けられたらええ」「久しぶりの運動会で楽しかった」などの声がありました。今後も、ぜひ楽しみながら防災に取り組んでいただきたいものです。



最終種目は非常持ち出し袋をバトンにしたリレー。周回することによってどんどん中身が増えていく...

※運動会の内容に興味のある方、うちの地域でもやってみたいという方は、本庁総務課消防防災係（☎43-2112）までお問い合わせください。

もどりガツオ祭開催

10月27日、黒潮一番館で「とさ佐賀のもどりガツオ祭」が行われました。

この祭りは、佐賀町漁協関係者が主催となつて行っているもので、今年1年間美味しいカツオが食べられたことへの感謝と、来年への大漁祈願を込めて毎年秋の戻りガツオの時期（毎年11月最終土曜）に行われています。町内外からの出店が多数並んだ会場では、佐賀保育所と横浜保育所の園児たちのかわいらしい踊りでオープニングを迎え、カツオのわら焼き実演や餅つき、豪華な景品付きのカツオ一本釣りゲームや魚の重量当てゲームなど多彩な出し物が来場者を楽しませていました。



獲れたての新鮮なカツオが手に入る「ピンビ市」も大好評でした。

八野小学校サツマイモの収穫
お手、たくさんとれたよ！

10月15日、入野小学校2年生22人が、田村地区の畑で春に植え付けしたサツマイモの収穫を行いました。収穫までは、草むしりをしたり、外敵から大事なお芋を守るためにカカシを作ったりしました。「先生見て、こんなに大きいおイモ！」つるからゴロゴロ出てくるサツマイモに子どもたちは大興奮でした。

昨年からボランティアで畑の提供を行っている秋田敬さん、加代子さん夫妻は「11月には学校で今日収穫した芋を使った料理をみんなで作ります。子どもたちと関わりながら食育につながる学びの場を提供できて私たちが嬉しいです。」と話してくれました。



健康づくり図画・ポスター展
前田翔哉さん・浜口紗来さんが
入選しました！！

毎年、高知県国民健康保険団体連合会では、県内の小学生を対象に健康づくりをテーマとした「図画・ポスター」の募集を行っています。今年も570点の応募があり、その中から前田翔哉さんと浜口紗来さん（ともに三浦小学校2年生）の作品が佳作に選ばれました。

入選作品計26点は啓発用ポスターとして、各市町村役場や施設などで掲示されます。



前田翔哉さんの作品

浜口紗来さんの作品

国常育夫さん
農林水産大臣から感謝状

農林水産省では、農林水産統計情報業務に永年貢献していただいた方に感謝状を贈り、その功績をたたえています。

今年も10月18日の「統計の日」に、農林水産統計情報業務協力者等に対する農林水産大臣感謝状伝達式が高知地方合同庁舎（高知市）で行われました。

海面漁業調査員、稼動量調査員および海面漁業漁獲統計調査員として水産統計調査に協力し、統計情報業務推進への貢献と、漁業の振興・遂行へ尽力した功績がたたえられ、国常育夫さん（佐賀）に特別協力者の感謝状が贈られました。ご協力ありがとうございました。



国常育夫さん

四国電力より街路灯の贈り物

黒潮町は、四国電力株式会社からのご好意により、毎年街路灯を寄贈していただいています。

今年も8灯の街路灯を寄贈していただき、その目録が10月31日に四国電力株式会社中村支店島井和久支店長から町長に手渡されました。

この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



御礼